

## NEWS RELEASE

札幌大学の  
今を発信！

2013.9.3

札幌大学構内に300㎡オーバーの  
室内スケートパークがオープン

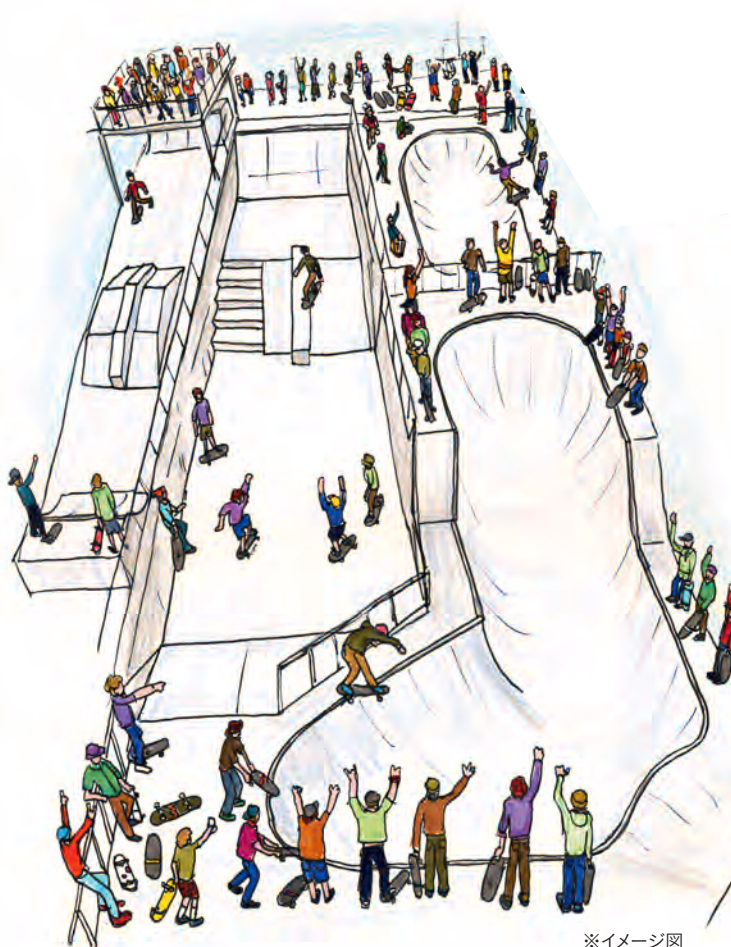
POOLPARK

札幌大学は、近年のオリンピック競技に対する考え方の変化や若者のライフスタイル、全国的にも珍しいX-SPORTS部の学内での盛り上がりを受け、キャンパス内に国内の大学初となる300㎡オーバーの本格的な室内スケートボードパークを9月29日(日)にオープンします。

オープニングイベントには、高校生対象のスケートボードイベント「Highschool League」を、札幌大学オープンキャンパスと同時開催いたします。全道8エリア、市内4エリアから無料バスが出ることから、スケートボードに興味のある多くの高校生が札幌大学に来ることが予想されます。

「Highschool League」は、大学初の試みでプロライダーデモや高校生ジャムセッション(レベルを問わず楽しめる練習会)、学食無料体験、プロライダーからアドバイスをもらえるだけでなく、豪華景品もあたるチャンスがあります。

裏面へ続く



※イメージ図



札幌大学 経営企画室

〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目  
TEL:011-852-9190 FAX:011-856-8262  
E-mail: koho@ofc.sapporo-u.ac.jp

## 表面から続く 小学生～大学生へ向けたエクストリームスポーツの活性化を推進！

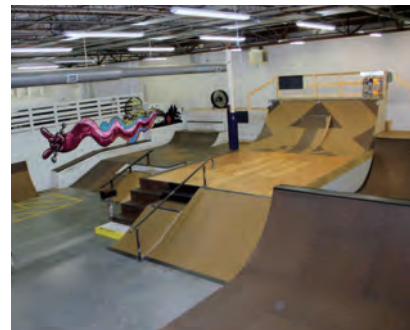
### 札幌大学が目指すのは、世界標準。

近年、オリンピック競技に対する考え方が変化しています。空中感覚を楽しんだり若者に訴えるスポーツ、例えばスノーボードや自転車のBMXが新種目<sup>※1</sup>に採用されたほか、2012年のロンドン五輪ではスケートボードが協議されるなど、エクストリームスポーツ(Xスポーツ)の評価が高まってきています。<sup>※2</sup>

いまやスポーツ界の主流となりつつあるXスポーツの中でも、スケートボードは日常生活の中で気軽に楽しめることもあり、発祥地のアメリカではキャンパス内に専用のスケートパークを設置している大学も数多くあります。



University of North Florida(アメリカ・フロリダ州)  
(<http://www.unf.edu/>)  
The UNF Skate Park  
(<http://www.unf.edu/recreation/skatepark/>)



Liberty University(アメリカ・バージニア州)  
(<http://www.liberty.edu/skatepark/>)  
Liberty Mountain Skate Park  
(<https://www.facebook.com/LibertyMountainSkatePark/>)

そこで札幌大学では変化を遂げる世界のスポーツ文化に対応し、キャンパス内に国内の大学初となる本格的なスケートボードパークを設置。若者のライフスタイルにマッチした施設の提供はもとより、人材育成や文化的アプローチにおいても世界標準を目指していきます。札幌大学の取り組みにどうぞご期待ください。



The University of British Columbia  
(カナダ・ブリティッシュコロンビア州)  
(<http://www.ubc.ca/>)  
The UBC Skatepark  
(<http://transportation.ubc.ca/2013/04/30/ubc-skatepark/>)

※1.エクストリームスポーツに分類される競技では、スノーボード(トリノ五輪)、BMX(北京五輪)、スキー・ハーフパイプ(ソチ五輪)が採用されている。

※2.多種類のXスポーツを集め、夏冬の年2回開催されるアクションスポーツ総合大会「Xゲーム」(X Games)は、アメリカを中心に全世界で放送されている。さらに米国外で行われるものとして、「Asian X Games」「European X Games」「Latin X Games」がある。

「エクストリーム・スポーツ」の語源は、1991年に発表されたカナダ人作家ダグラス・クーブランドの著書「ジェネレーションX」という1冊の小説に由来しています。90年代に青春を送る若者達を主人公にしたこのベストセラー小説のタイトルは、一躍流行語となり、90年代の若者を象徴する言葉として使われはじめました。この「X世代」の象徴的スポーツとしてカテゴライズされたのが、Xスポーツ=エクストリーム・スポーツです。

### オールシーズン対応の300㎡オーバーの室内スケートパーク

施設として使用しなくなった、25mプールを利用して作られた既存の5m×10mのすり鉢状のスクエアボウル(2011年設置)に加え、スノーボードのハーフパイプをイメージした練習や、サーフィンイメージした滑りも可能なアメリカのプールをモチーフにした8m×14mのビッグボウル、街中を再現したステア(階段)、ハンドレール(手すり)、バンク(スロープ)などを25mプールの長さを活かして作られる北海道初のストリートセクション、初心者が安心してスケートボードを楽しめ、次のレベルの技を練習できるような4m×20mのフラットゾーンを設置します。



※アメリカのプール(例)



※ストリートセクション(例)



2011年、施設として使用しなくなった、25mプールに有志によって作られた5m×10mのすり鉢状のスクエアボウルを設置したことにより、X-SPORTS部の部員が大幅に増えました。それに伴い、学生からのスケートボード練習場所の拡大とレベルに応じたゾーニングの要望があり、大学側がその要望に応えたものです。